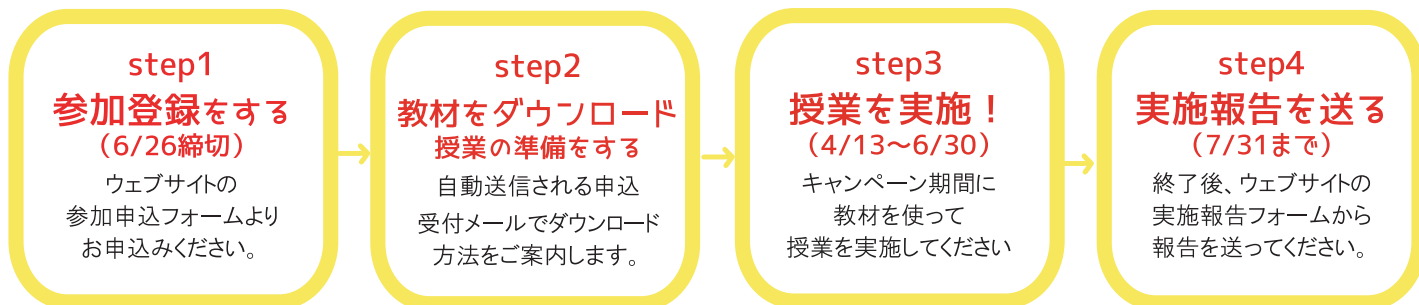


「世界一大きな授業2019」参加方法 授業実施期間：4/13（土）～6/30（日）



報告書をお届けします

8月下旬に事務局から、お申込み1件につき
1枚報告書を郵送でお送りします。
ぜひ、教室などに掲示してください。

写真を撮って報告しよう
左：大阪産業大学
右：ガールスカウト奈良県西地区



参加申込

ウェブサイトのフォームよりお申込みください

<http://www.jnne.org/gce/>



世界一大きな授業

検索

ご寄付をお願いします

教材の作成、キャンペーンの運営には、年間およそ100万円の
資金が必要です。皆さまのご寄付でのご協力をお願いします。
寄付金は1口1,000円より募集しています。

【みずほ銀行】新宿西口支店 普通4839927

教育協力NGOネットワーク

【ゆうちょ銀行】記号10110(店番018)

番号43575271(普通預金4357527)

教育協力NGOネットワーク

※領収書は銀行の振込票をもって代えさせていただきます。活動・会計報告は9月末に「世界一大きな授業」ウェブサイトに掲載します。

参加した「生徒」たちの声 (2018年)

- 戦争の道具にお金を使うのではなく、人を助けるために使ってほしい。(北海道・恵庭市立柏小学校)
 - 教育に必要なお金を紙テープで比べてみて、軍事費のお金がすぎて、驚きました。なぜこんなことになっているのか不思議に思いました。(ガールスカウト青森県第9団)
 - 私が政府にお願いしたいのは、学校や教師を増やすために予算を使うことです。(福島県立郡山高等学校)
 - 今の世界では先生の少なさや子供たちの勉強の習熟度の低さが目立っているため、これから先生を増やしたりするために国際社会で協力することが大切だと思いました。(栃木県文星芸術大学附属中学校)
 - 援助のお金は経済分野に多く配分されている。もっと教育への配分を増やすべきだし、日本のGPE基金はとても少ないので増額すべき。(岐阜県立各務原高等学校)
 - 教育にかかるお金を増やしてほしいです。国が豊かになるには人が豊かになることが大切です。そのためには知識が必要です。日本にいる在日の方や海を渡って知り合うことのない子ども達にも豊かになる権利があります。(愛知淑徳大学小島ゼミ)
- <感想をもっと読む→<http://www.jnne.org/gce2018/impression.html>>

「世界一大きな授業」2019

主催：教育協力NGOネットワーク (JNNE) <途上国で教育協力を行うNGO20団体のネットワーク>

共催：フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

協力：地球対話ラボ

後援：文部科学省、外務省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、日本ユネスコ国内委員会、ユネスコ・アジア文化センター、ESD活動支援センター、SDGs市民社会ネットワーク、国際協力機構、国際連合広報センター、ガールスカウト日本連盟、児童労働ネットワーク ※申請中を含む

実施団体：「世界一大きな授業」は次の団体が実施しています

開発教育協会、ガールスカウト日本連盟、Global Citizen、日本YMCA同盟、プラン・インターナショナル・ジャパン、フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、ラオスのこども



お問合せ・お申込み

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5-3F

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン内「世界一大きな授業」事務局

E-mail: gce.japan.campaign@gmail.com URL: <http://www.jnne.org/gce/> Facebook: <http://www.facebook.com/jnne.gce>

